

# 健康講座のご案内

演題名 : 肺がんの診断と治療の進歩  
日時 : 令和6年2月10日(土曜日)15:00~16:00  
会場 : 県民健康センター2階 大研修室  
講師 : 県民健康センター所長 田中 正樹

肺がんは日本で最も多くの方が亡くなるがんです。しかし、いたずらに怖がらず、自分の病状を理解することは、よりよい治療を受けるために必要なことです。肺がんの基本的な知識から新しい情報まで、皆さんに知っておいてもらいたいことを、分かり易くお話しします。

## 肺がんの統計情報

診断される数 (2019年)	126,548例 (男性84,325例、女性42,221例)
死亡数 (2021年)	75,585人 (男性53,247人、女性22,338人)
5年相対生存率 (2009~2011年)	34.9% (男性29.5%、女性46.8%)

がん情報サービスHPより

## 肺がんの治療法を決める5つの要素

- ①組織型
- ②病期
- ③遺伝子異常の状態
- ④体力
- ⑤気力

## 肺がんの主な治療法

### 局所療法

- ①手術
- ②放射線
- ③光線力学的療法(PDT)
- ④凍結療法

### 全身療法(薬物療法)

- ①細胞毒性抗がん剤
- ②分子標的治療薬
- ③免疫チェックポイント阻害薬

## 主な肺がんの組織型とその特徴

	組織分類	多く発生する場所	特徴
非小細胞肺がん	腺がん	肺野	・肺がんの中で最も多い
	扁平上皮がん	肺門 (肺野部の発生頻度も高くなってきている)	・咳や血痰などの症状があらわれやすい ・喫煙との関連が大きい
	大細胞がん	肺野	・増殖が速い
小細胞肺がん	小細胞がん	肺門・肺野ともに発生する	・増殖が速い ・転移しやすい ・喫煙との関連が大きい

がん情報サービスHPより

お問い合わせ先: 県民健康センター

TEL(0776)98-8000